



国土交通省
中国地方整備局
<http://www.cgr.mlit.go.jp>

お知らせ
平成27年4月9日
資料提供先：鳥取県政記者会

平成27年度 中国地方整備局関係予算概要(鳥取県内)

鳥取河川国道事務所
倉吉河川国道事務所
日野川河川事務所
境港湾・空港整備事務所
出雲河川事務所
三次河川国道事務所

【問い合わせ先】

鳥取河川国道事務所	(河川)副所長	後藤 誠志	TEL 0857-22-8435(代)
	(道路)副所長	川上 隆三	
倉吉河川国道事務所	(河川)副所長	川上 暁洋	TEL 0858-26-6221(代)
	(道路)副所長	赤星 剛	
日野川河川事務所	(技術)副所長	實光 則夫	TEL 0859-27-5484(代)
境港湾・空港整備事務所	(技術)副所長	谷渚 敦	TEL 0859-42-3145(代)
出雲河川事務所	(技術)副所長	古南 弘史	TEL 0853-21-1850(代)
三次河川国道事務所	(技術)副所長	貞任 俊典	TEL 0824-63-4121(代)

目 次

■ 平成 2 7 年度 中国地方整備局（鳥取県内） 予算総括表	1
■ 平成 2 7 年度 主な完成予定事業箇所（鳥取県内）	2
■ 主要事業箇所（鳥取県内）	3
■ 平成 2 7 年度 中国地方整備局（鳥取県内） 事業の概要	4～8
■ 主要事業箇所別事業費 中国地方整備局（鳥取県内）	9

<資料編>主要事業箇所の概要

河川事業

・ 河－ 1 (鳥取)千代川一般河川改修事業（徳吉地区）	1 1
・ 河－ 2 (倉吉)天神川一般河川改修事業（小鴨地区）	1 2
・ 河－ 3 (倉吉)天神川一般河川改修事業（秋喜地区）	1 3
・ 河－ 4 (日野川)日野川一般河川改修事業（米子市青木地区）	1 4
・ 河－ 5 (出雲) 斐伊川一般河川改修事業（旗ヶ崎地区）	1 5
・ 河－ 6 (出雲) 斐伊川総合水系環境整備事業（中海・宍道湖）	1 6
・ 河－ 7 (鳥取) 千代川河川工作物関連応急対策事業	1 7

砂防事業

・ 砂－ 1 (倉吉)大山山系直轄火山砂防事業（天神川水系）（三朝町吉田地区）	1 8
・ 砂－ 2 (倉吉)大山山系直轄火山砂防事業（天神川水系）（倉吉市野添地区）	1 9
・ 砂－ 3 (倉吉)大山山系直轄火山砂防事業（天神川水系）（三朝町木地山地区）	2 0

- ・ 砂－ 4 (日野川)大山山系直轄火山砂防事業（日野川水系） 2 1

海岸事業

- ・ 海－ 1 (日野川) 皆生海岸保全施設整備事業 2 2

道路事業

- ・ 道－ 1 (鳥取) 山陰道 鳥取西道路 2 3
- ・ 道－ 2 (鳥取) 中国横断自動車道姫路鳥取線 智頭～鳥取 2 4
- ・ 道－ 3 (倉吉) 山陰道 米子道路 2 5
- ・ 道－ 4 (倉吉) 鳥取 9 号交差点改良等（湯梨浜・北栄地区事故対策） 2 6
- ・ 道－ 5 (倉吉) 鳥取 9 号交差点改良等（別所地区交差点改良） 2 7
- ・ 道－ 6 (鳥取) 鳥取 2 9 号交差点改良等（花歩道整備） 2 8
- ・ 道－ 7 (鳥取) 道の駅「神話の里 白うさぎ」 2 9
- ・ 道－ 8 (鳥取) 橋梁の老朽化対策 3 0

港湾事業

- ・ 港－ 1 (境) 鳥取港防波堤整備事業 3 1
- ・ 港－ 2 (境) 境港ふ頭再編改良事業 3 2
- ・ 港－ 3 (境) 境港国際物流ターミナル整備事業 3 3

平成27年度 中国地方整備局（鳥取県内） 予算総括表

（単位：百万円）

事業部門		平成27年度 事業費							平成26年度 事業費	伸率 (a/b)
		鳥取	倉吉	日野川	境	出雲	三次	計(a)	計(b)	
河川事業	改修	260	312	325		3,756		4,653	5,044	0.922
	環境整備	0	0	0		513		513	608	0.844
	応急対策	167	43	0		88		298	180	1.656
	小計	427	355	325	0	4,357	0	5,464	5,832	0.937
砂防事業	砂防		432	510				942	947	0.995
	小計	0	432	510	0	0	0	942	947	0.995
海岸事業	海岸			614				614	561	1.094
	小計	0	0	614	0	0	0	614	561	1.094
道路事業	改築	22,184	720				240	23,144	20,712	1.117
	交通安全	573	1,476					2,049	1,347	1.521
	電線共同溝	0	0					0	0	—
	小計	22,757	2,196	0	0	0	240	25,193	22,059	1.142
港湾事業	鳥取港				325			325	190	1.711
	境港				620			620	1,590	0.390
	小計	0	0	0	945	0	0	945	1,780	0.531
総計(事務所計)		23,184	2,983	1,449	945	4,357	240	33,158	31,179	1.063
(注意) (1) 計数はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計とは一致しないものがある。 (2) 境港湾・空港整備事務所は鳥取県関連分のみである。 (3) 出雲河川事務所分については、島根県・鳥取県を含む。 (4) 事業費には、調査費、業務取扱費・災害復旧費を含まない。 (5) 上記予算の他に、地方整備局一括配分として、河川維持修繕費、堰堤維持費、総合流域防災対策事業費、交安Ⅱ種、維持管理費等がある。										

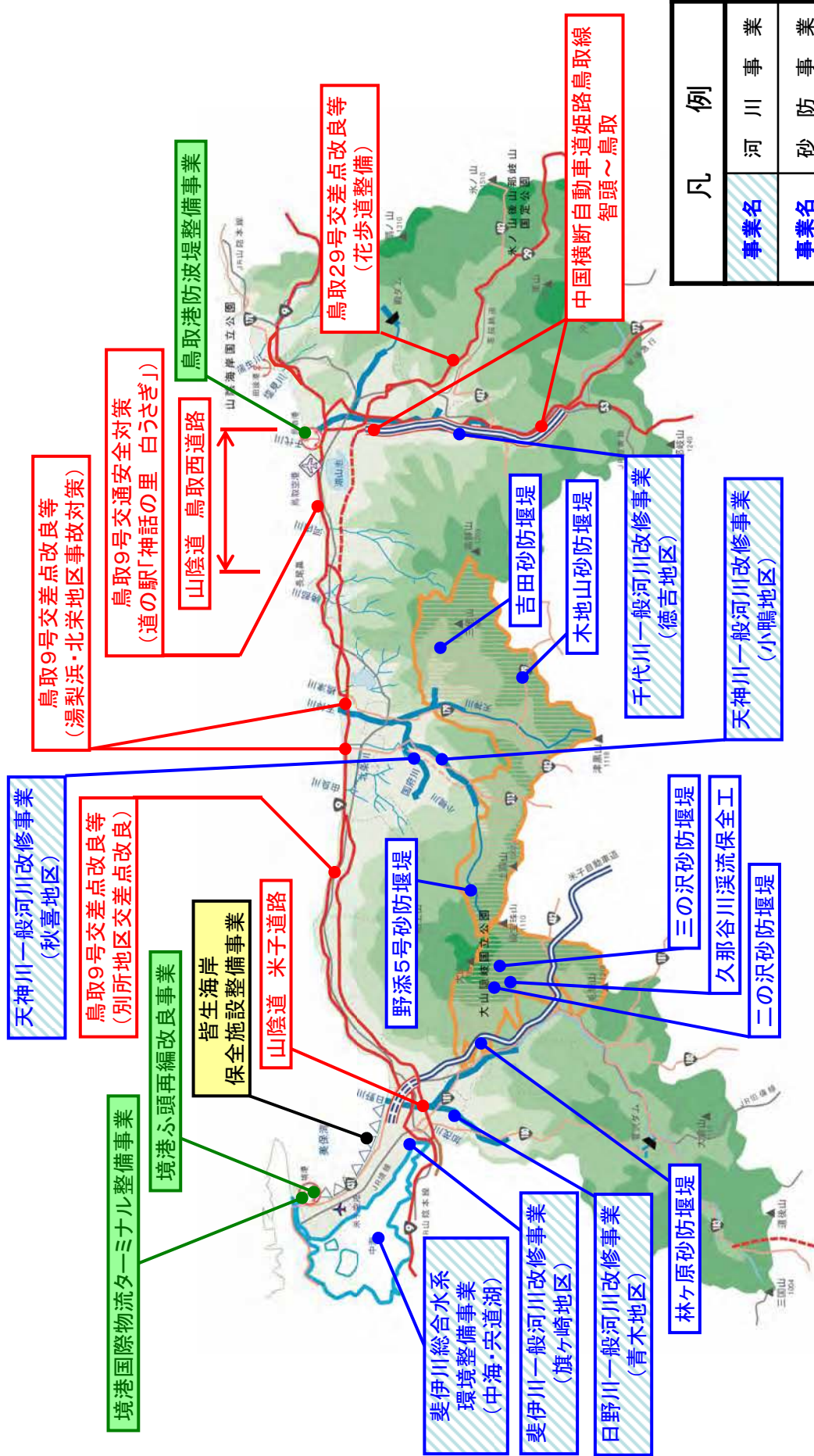
平成27年度 主な完成予定事業箇所（鳥取県内）

<位置図>



番号	事業名	事業分類	担当事務所	完成予定年度	資料編
河-5	斐伊川一般河川改修事業（旗ヶ崎地区）	河川	出雲河川事務所	H27完成予定	P15
砂-4	三の沢砂防堰堤	砂防	日野川河川事務所	H27完成予定	P21
	林ヶ原砂防堰堤	砂防	日野川河川事務所		
	久那谷川溪流保全工	砂防	日野川河川事務所		
道-5	鳥取9号交差点改良等（別所地区交差点改良）	道路	倉吉河川国道事務所	H27完成予定	P27
道-6	鳥取29号交差点改良等（花歩道整備）	道路	鳥取河川国道事務所	H27完成予定	P28
道-7	鳥取9号交通安全対策（道の駅「神話の里 白うさぎ」）	道路	鳥取河川国道事務所	H27完成予定	P29
港-1	鳥取港防波堤整備事業	港湾	境港湾・空港整備事務所	H27完成予定	P31

主要事業箇所（鳥取県内）



凡 例	
事業名	河 川 事 業
事業名	砂 防 事 業
事業名	海 岸 事 業
事業名	道 路 事 業
事業名	港 湾 事 業

平成27年度 中国地方整備局(鳥取県内) 事業の概要

1. 河川事業

(1) 改修

1) 千代川一般河川改修事業(徳吉地区) 【資料編 河－1(鳥取)】

鳥取市徳吉地区では、固定堰による洪水時の水位のせき上げや堆積土砂による河川断面不足が生じている状況です。

平成27年度は、佐貫地区の徳吉頭首工の改修、河川内に堆積した土砂の撤去並びに高水敷保護工を実施します。

2) 天神川一般河川改修事業(小鴨地区) 【資料編 河－2(倉吉)】

天神川支川小鴨川の中流部の当箇所は、河道の断面不足により流下能力が不足しており、また急流河川であるため、堤防の浸食の危険性が高く、流下能力の確保及び堤防の侵食対策が必要となっています。

平成27年度は、河道掘削及び侵食対策のための護岸工を推進します。

3) 天神川一般河川改修事業(秋喜地区) 【資料編 河－3(倉吉)】

倉吉市秋喜地区は、西倉吉工業地域をはじめとした資産・人口の集中する地域を背後地としていることから、堤防決壊に対する安全度確保の観点から浸食対策が必要となっています。

平成27年度は、侵食対策である護岸工を推進します。

4) 日野川一般河川改修事業(青木地区) 【資料編 河－4(日野川)】

日野川支川法勝寺川の流下能力を確保し、米子市街地を浸水被害から守るため、平成23年度より米子市青木地区の改修工事に着手しており、27年度は堰の改築工事を実施します。

5) 斐伊川一般河川改修事業(旗ヶ崎地区) 【資料編 河－5(出雲)】

中海において、近年高潮で浸水被害を受けている米子市旗ヶ崎地区において水門等の整備を実施します。

(2) 環境整備

1) 斐伊川総合水系環境整備事業(中海・宍道湖) 【資料編 河－6(出雲)】

中海の水環境の改善を目指し、米子湾において覆砂を実施します。

(3) 応急対策

1) 千代川河川工作物関連応急対策事業

【資料編 河－7(鳥取)】

千代川直轄管理区間において、老朽化が著しい河川管理施設の改良を行います。
樋門の操作方式が手動式で、緊急時に確実な操作が行えないため、開閉装置の無動力化並びに電動化に改良します。

2. 砂防事業

(1) 大山山系直轄火山砂防事業(天神川水系)

1) 吉田砂防堰堤

【資料編 砂－1(倉吉)】

吉田砂防堰堤は、三徳川下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、小鹿川の支川天谷川に計画した砂防堰堤 (H=12.5m, L=81.5m) です。
平成27年度は、付替道路を推進します。

2) 野添5号砂防堰堤

【資料編 砂－2(倉吉)】

野添5号砂防堰堤は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、小鴨川の支川泉谷川に計画した砂防堰堤 (H=14.5m, L=74.0m) です。
平成27年度は、鋼製堰堤工を実施します。

3) 木地山砂防堰堤

【資料編 砂－3(倉吉)】

木地山砂防堰堤は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、天神川の支川能谷川に計画した砂防堰堤 (H=11.5m, L=61.0m) です。
平成27年度は、用地買収を継続するとともに付替道路に着手します。

(2) 大山山系直轄火山砂防事業(日野川水系)

【資料編 砂－4(日野川)】

解体期にある大山及び各溪流から流出する土砂による災害から地域住民の生命と財産を守るため、引き続き整備率の向上を図ります。

1) 三の沢砂防堰堤

江府町大河原地内の小江尾川（こえびがわ）において、堰堤本体工事を促進し、平成27年度の完成を目指します。

2) 林ヶ原(はやしがはら)砂防堰堤

伯耆町林ヶ原地内の清山川（せいやまがわ）において、堰堤本体工事を促進し、平成27年度の完成を目指します。

3) 二の沢砂防堰堤

江府町日光地内の白水川（しらみがわ）において、堰堤本体工事に必要な用地買収や工事用道路等の整備を促進します。

4) 久那谷川(くなたにがわ)溪流保全工

江府町吉原地内の久那谷川において、溪流保全工に着手し平成27年度の完成を目指します。

3. 海岸事業

1) 皆生海岸保全施設整備事業

【資料編 海-1(日野川)】

両三柳工区において、侵食対策として沖合施設(離岸堤)整備を実施するとともに、富益工区においてサンドリサイクル(砂の循環)による保全対策を促進します。

4. 道路事業

(1) 改築(山陰道)

1) 山陰道鳥取西道路(延長19.3km:部分開通済)

【資料編 道-1(鳥取)】

山陰道鳥取西道路は、災害時等の代替路線の確保、鳥取市内の交通混雑緩和を目的としており、鳥取西ICから青谷IC間の事業を実施中です。

平成27年度は、吉岡温泉ICから青谷IC間の平成29年度開通を目指し、埋蔵文化財調査、改良工事、トンネル工事、橋梁工事等を推進します。

(2) 改築(付加車線)

1) 中国横断自動車道姫路鳥取線 智頭～鳥取

【資料編 道-2(鳥取)】

中国横断自動車道姫路鳥取線は、トンネルの連続やインターチェンジ部の合流などにより速度低下が発生しており、走行性や安全性の向上を図るため、付加車線を設置しています。

平成27年度は、改良工事、橋梁下部工事及びトンネル工事を推進します。

2) 山陰道 米子道路

【資料編 道-3(倉吉)】

山陰道米子道路では、渋滞区間及びインターチェンジ部の合流により、速度低下が発生しており、走行性や安全性の向上を図るため、日野川東IC～米子南IC間に付加車線を設置します。

平成27年度は、調査・設計、橋梁工事等を推進します。

(3) 交通安全

1) 鳥取9号交差点改良等(湯梨浜・北栄地区事故対策)

【資料編 道-4(倉吉)】

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間である信号交差点が連続する2区間において、交差点立体化による事故対策を行い、事故削減を図るものです。

平成27年度は、調査・設計、改良工事等を推進します。

2) 鳥取9号交差点改良等(別所地区交差点改良) 【資料編 道-5(倉吉)】

当該箇所は、山陰道の琴浦PAと国道9号の道の駅「ポート赤碕」を結ぶ町道別所中線と国道9号が交わる交差点です。現在、国道9号に右折車線が無く、右折待ち車両による交通障害が発生していることから、右折車線設置等により交通安全の向上を図るものです。

平成27年度は、工事を推進し、完成を目指します。

3) 鳥取29号交差点改良等(花歩道整備) 【資料編 道-6(鳥取)】

当該箇所は、歩道の幅が1m程度の箇所や歩道が無い箇所があり、歩行者と走行車両が近接して通行する危険な箇所であるため、事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）の対象区間として、安全・安心な歩行空間の確保を図るものです。

平成27年度は工事を推進し、完成を目指します。

4) 道の駅「神話の里 白うさぎ」 【資料編 道-7(鳥取)】

道の駅「神話の里 白うさぎ」は、歴史・自然などの共通テーマを通じ、周辺観光施設及び他の「道の駅」との連携拠点となる優れた提案があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものとして、重点「道の駅」に選定されています。

平成27年度は区画線や標識等により、場内誘導の改善を行います。

(4) 更新防災(修繕)

1) 橋梁の老朽化対策 【資料編 道-8(鳥取)】

定期点検の結果、修繕が必要と判断された橋梁について、修繕工事を実施することで、安全・安心で信頼性の高いネットワークの確保を図ります。

鳥取県内では、国道29号 魚止橋（八頭郡若桜町地内）他の橋梁について、修繕工事を実施します。

5. 港湾事業

(1) 鳥取港改修事業

1) 鳥取港防波堤整備事業 【資料編 港-1(境)】

鳥取港における既存の港口付近での波のじょう乱による船舶の安全な航行への影響に対応して、西浜航路を新設するとともに、必要となる港内の静穏度を確保するため、防波堤（第1）の西側への延伸を実施しています。

平成26年度までに防波堤延伸総延長 300m の全てのケーソン据付が完了しており、平成27年度は消波ブロックの製作・据付等を実施します。

(2) 境港改修事業

1) 境港ふ頭再編改良事業

【資料編 港－2(境)】

山陰地方には国内海上輸送網にミッシングリンクがあり、境港周辺の企業は非効率な輸送を強いられており、さらに境港に定期就航している航路が利用している岸壁は非耐震であり、大規模地震発生時の物流機能確保並びに離島航路等の継続的な就航を可能とするため、竹内南地区に新たな内貿 RORO 船に対応したターミナルを整備・耐震化することで、境港のふ頭再編を行い、物流機能の効率化、山陰地方の産業競争力強化を図ります。

平成 27 年度は岸壁（水深 10m）の整備に必要な調査、設計等を実施します。

2) 境港国際物流ターミナル整備事業

【資料編 港－3(境)】

境港における大型貨物船に対応した岸壁、ふ頭用地の恒常的な不足を解消するとともに、併せてふ頭の再編を行うことで在来貨物及び、将来増加する貨物需要（リサイクル貨物、企業の利用拡大等）も含めた効率的な利用を図るため、外港中野地区において、水深 12m の国際物流ターミナルの整備を実施しています。

平成 26 年度までに岸壁本体工ケーソンの据付を実施しています。平成 27 年度は岸壁の裏込・裏埋工、上部工等を実施します。

主要事業箇所別事業費(中国地方整備局(鳥取県内))

事業名	事業費(百万円)		伸率 (H27/H26)	備考
	平成27年度 (当初)	平成26年度 (当初)		
【河川事業】				
千代川一般河川改修事業	260	342	0.760	千代川水系全体
天神川一般河川改修事業	312	445	0.701	天神川水系全体
日野川一般河川改修事業	325	250	1.300	日野川水系全体
斐伊川一般河川改修事業	3,756	4,007	0.937	斐伊川水系全体
斐伊川総合水系環境整備事業	513.3	600	0.856	斐伊川水系全体
千代川河川工作物関連応急対策事業	167	135	1.237	千代川水系全体
【砂防事業】				
大山山系(天神川水系)砂防事業	432	431.5	1.001	天神川水系全体
大山山系(日野川水系)直轄火山砂防事業	510	515	0.990	日野川水系全体
【海岸事業】				
皆生海岸保全施設整備事業	614	561	1.094	
【道路事業】				
山陰道 鳥取西道路	18,642	17,800	1.047	
中国横断自動車道姫路鳥取線 智頭～鳥取	3,542	1,967	1.801	
山陰道 米子道路	720	580	1.241	
鳥取9号交差点改良等(湯梨浜・北栄地区事故対策)	1,200	501	2.395	
鳥取9号交差点改良等(別所地区交差点改良)	204	48	4.250	
鳥取29号交差点改良等(花歩道整備)	39	48	0.813	
道の駅「神話の里 白うさぎ」	8	-	-	
【港湾事業】				
鳥取港改修事業	325	190	1.711	
境港改修事業	620	1,590	0.390	

＜資料編＞

主要事業箇所の概要 中国地方整備局（鳥取県内）

事業推進

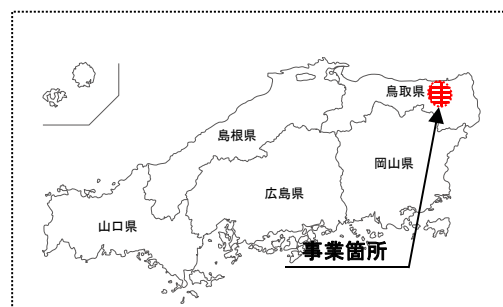
1. 事業の必要性及び概要

千代川の河川整備は、戦後最大規模(S54.10)の洪水を安全に流すことを目標として整備を進めています。当該地区では、固定堰による洪水時の水位のせき上げや堆積土砂による河川断面不足が生じている状況です。

平成27年度は、洪水に対する安全度を向上させるため佐貫地区の徳吉頭首工の改修、河道掘削並びに高水敷保護工を実施します。

2. 事業箇所

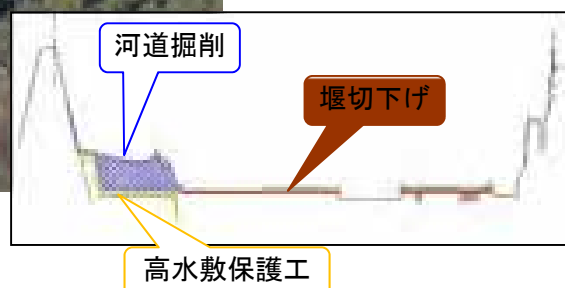
鳥取県鳥取市河原町徳吉地区



3. 平成27年度 予定事業内容

堰改修N=1基、河道掘削V=15,000m³

高水敷保護工A=10,000m²



4. 期待される整備効果

河川整備計画の治水目標である、戦後最大の昭和54年10月洪水と同規模の洪水が発生した場合においても、浸水被害の防止が図られます。

てんじんがわ
天神川一般河川改修事業
おがも
(小鴨地区)

事業費312百万円
※天神川水系全体
河-2(倉吉)

事業推進

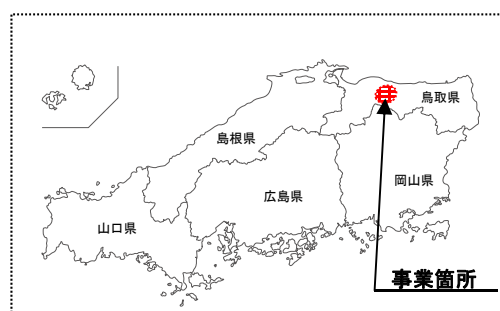
1. 事業の必要性及び概要

天神川支川小鴨川の中流部は、樹木繁茂や土砂堆積による河道の断面不足により、流下能力不足を生じており、洪水による氾濫により、西倉吉工場団地を始めとして多くの資産や家屋が浸水する恐れがあります。また、急流河川であるがゆえ、洪水時の流速が早く、堤防の浸食の危険性が高く、侵食対策が必要となっています。

このため、河道掘削、護岸等を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

おがも
鳥取県倉吉市小鴨地区



3. 平成27年度予定事業内容

天神川支川小鴨川の小鴨地区において、流下能力対策及び侵食対策を実施します。



4. 期待される整備効果

河岸侵食防止対策を実施することで、堤防決壊等の重大な災害を防止し、洪水のはん濫による浸水被害の防止・軽減が図られます。

てんじんがわ
天神川一般河川改修事業
しゅうき
(秋喜地区)

事業費312百万円
※天神川水系全体

河-3(倉吉)

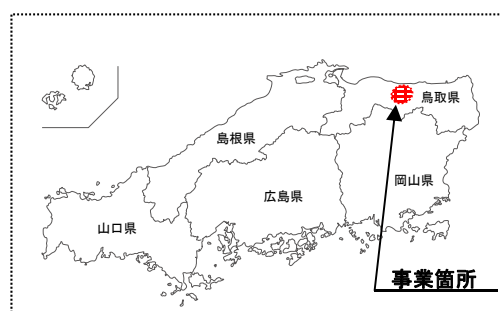
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

天神川水系は急流河川であることから、洪水時に堤防侵食の危険性が高く、過去には河岸侵食等が多数発生しています。天神川支川国府川の秋喜地区周辺には住宅地や工業団地が広がっていることから、堤防が決壊した場合の影響は甚大なものとなります。このため、当地区において堤防の侵食防止対策を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

しゅうき
鳥取県倉吉市秋喜地区



3. 平成27年度予定事業内容

天神川支川国府川秋喜地区において、堤防の侵食対策を実施します。



4. 期待される整備効果

河岸侵食防止対策を実施することで、堤防決壊等の重大な災害を防止し、洪水のはん濫による浸水被害の防止・軽減が図られます。

日野川一般河川改修事業

よなご あおき
(米子市青木地区)

事業費325百万円

※日野川水系全体

河-4(日野川)

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

日野川支川法勝寺川は全川にわたって流下能力が低く、下流部の破堤時には米子市街地(鳥取県内人口第2位)に甚大な被害が想定されます。

また、支川小松谷川合流部では法勝寺川の影響等による内水被害が過去10年の内に4回発生しており、流下能力向上および内水被害軽減のための緊急的な対策が必要です。

このため、流下能力確保を図るための河道掘削、背割堤の整備等を実施します。

2. 事業箇所

鳥取県米子市青木地区



3. 平成27年度 予定事業内容

法勝寺川青木地区の支川小松谷川の堰改築等を実施します。



排水ポンプ車による排水状況(H23.9)



浸水状況(H23.9)

4. 期待される整備効果

昭和34年9月の戦後最大洪水が再び発生した場合においても、米子市街地への浸水被害の防止を図るとともに、青木地区における内水被害の軽減が図られます。

ひいかわ 斐伊川一般河川改修事業

はたがさき
(旗ヶ崎地区)

河-5(出雲)

事業費3,756百万円(※斐伊川水系全体) 【鳥取県】

1. 事業の必要性及び概要

完成予定

旗ヶ崎地区は、宅地の地盤高が低く中海の湖岸堤が未整備で、近年高潮による浸水被害(平成14年、平成15年、平成16年)を頻繁に受け、河川整備計画においても短期整備箇所として位置づけられており、早期の湖岸堤整備が必要です。

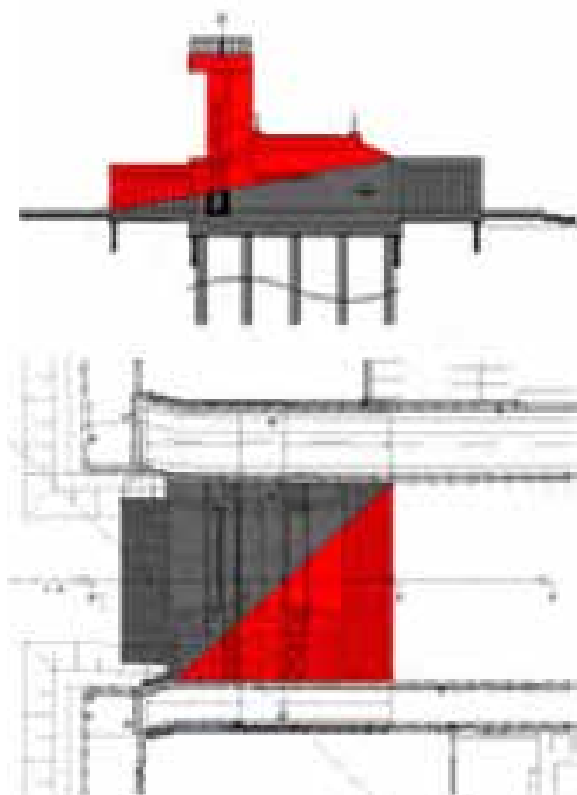
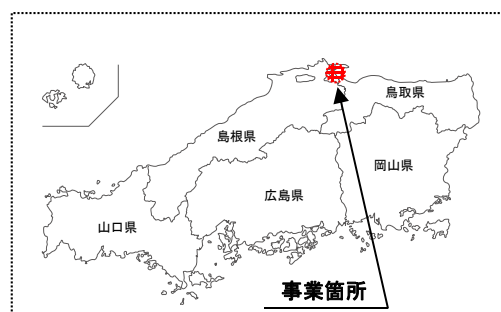
このため、高潮による浸水被害の防止を図るための堤防整備を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

鳥取県米子市旗ヶ崎地区

3. 平成27年度 予定事業内容

中海旗ヶ崎地区において、水門等の整備を実施します。



4. 期待される整備効果

河川整備計画の目標である平成15年9月高潮(既往最高水位)が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

ひいかわ 斐伊川総合水系環境整備事業

なかうみ しんじこ
(中海・宍道湖)

河-6(出雲)

事業費513.3百万円(※斐伊川水系全体) 【鳥取県・島根県】

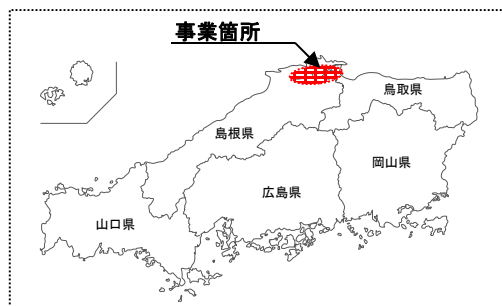
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

斐伊川水系斐伊川の中海・宍道湖では、水質観測が始まった昭和48年頃から、環境基準値を満足していない状態が続いており、赤潮・アオコといった富栄養化現象が継続的に発生しています。また、湖周辺地域の開発等による流入負荷の増加に加え、浅場・藻場が減少し、湖の自然浄化機能が低下しています。そこで、沿岸域に浅場を整備するとともに、中海の底質が悪い箇所には覆砂を実施して、生物の生息環境を改善することにより、湖の自然浄化機能を向上させ、水質浄化を図ります。

2. 事業箇所

鳥取県米子市錦海町～島根県松江市浜佐田町地区



3. 平成27年度 予定事業内容

中海：浅場造成 A=10千m²、覆砂 A=140千m²

宍道湖：浅場造成 A=10千m²



4. 期待される整備効果

浅場造成・覆砂により、生物の生息環境が改善され、自然が本来もつ浄化機能を回復して湖内の水質浄化を図ります。

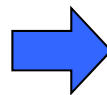
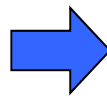
アオコや赤潮の発生が抑制され、湖岸の景観も向上します。

事業推進

■老朽化が著しい河川管理施設の改良措置

施設の改良

○樋門の操作が手動式の開閉装置で行うため、操作時に多大な労力を必要とする設備です。近年、操作員の高齢化が問題となっているため、緊急時に確実な操作を行うために開閉装置の無動力化並びに電動化に改良します。



開閉装置改良樋門(9基) 位置図



期待される整備効果

河川管理施設の施設性能を改善します。

大山山系直轄火山砂防事業（天神川水系）

砂-1（倉吉）

み さ さ よ し だ
（三朝町吉田地区）

事業費432百万円（※天神川水系全体）

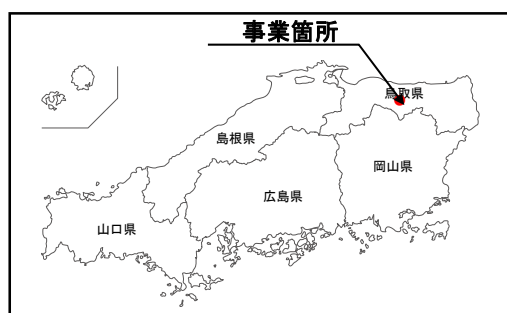
事業推進

【事業概要】

吉田砂防堰堤は、三徳川下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、小鹿川の支川天谷川に計画した砂防堰堤（H=12.5m, L=81.5m）です。

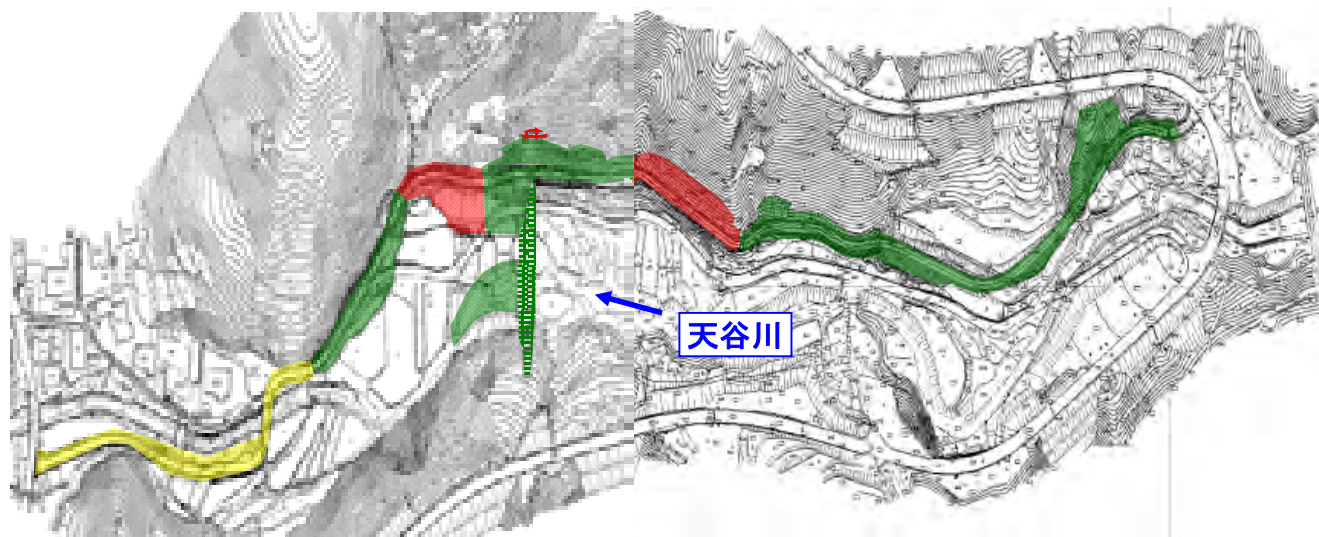
周辺地域では、平成10年台風10号により大規模な土砂災害が発生しており、三朝温泉をはじめとする下流域を保全するために平成25年度から事業に着手しています。

平成27年度は付替道路を推進します。



【H27年度の実施内容】

付替道路工



期待される整備効果

天谷川からの土砂流出を防ぐとともに、直下流の吉田地区をはじめ、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全します。

大山山系直轄火山砂防事業（天神川水系）

砂-2（倉吉）

くらしのぞえ
（倉吉市野添地区）

事業費432百万円（※天神川水系全体）

事業推進

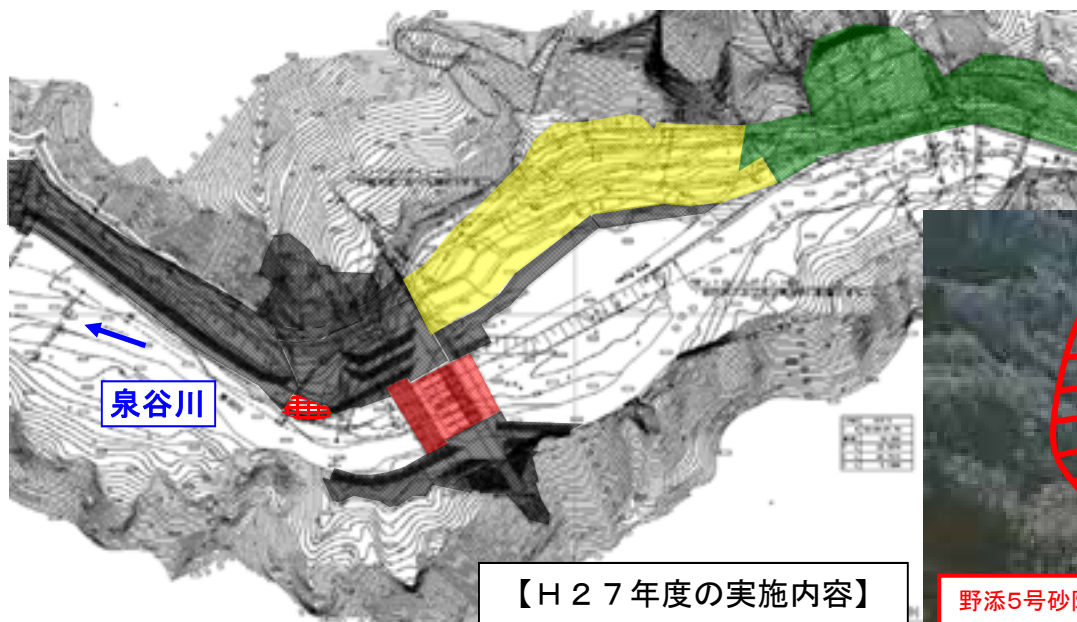
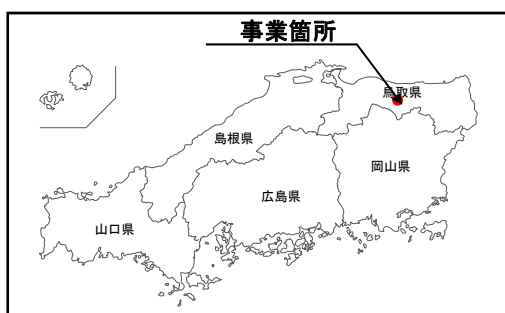
【事業概要】

野添5号砂防堰堤は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、小鴨川の支川泉谷川に計画した砂防堰堤（H=14.5m、L=74.0m）です。

泉谷川は、土砂生産が盛んな大山の重荒廃地域であるため、優先的に整備を進めており、平成21年度から事業に着手しています。

平成27年度は**鋼製堰堤工を実施**します。

荒廃の著しい大山源頭部の状況



【H27年度の実施内容】

鋼製堰堤工



期待される整備効果

泉谷川からの土砂流出を防ぐとともに、直下流の野添地区をはじめ、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全します。

大山山系直轄火山砂防事業（天神川水系）

砂-3(倉吉)

みさき きじやま
(三朝町木地山地区)

事業費432百万円（※天神川水系全体）

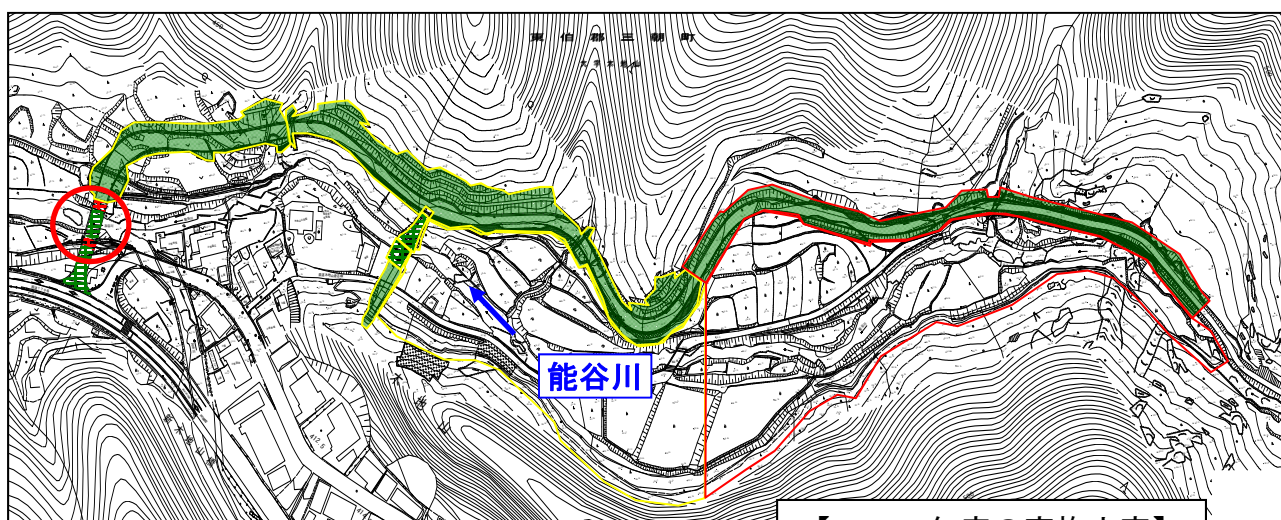
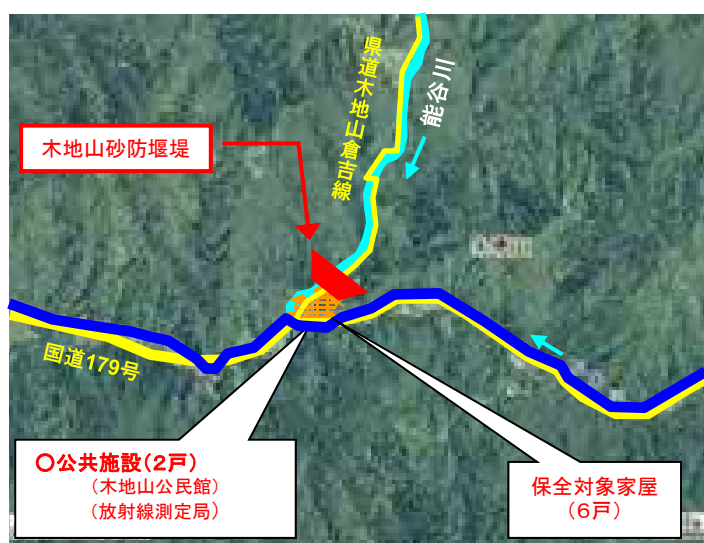
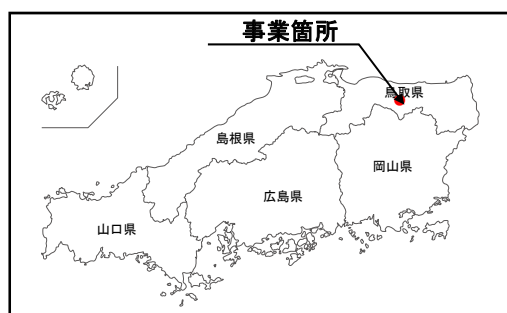
事業推進

【事業概要】

木地山砂防堰堤は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、天神川の支川能谷川に計画した砂防堰堤(H=11.5m,L=61.0m)です。

当流域の下流地域では、平成10年台風10号により大規模な土砂災害が発生しており、下流地域における再度災害を防止するために平成26年度より事業に着手しています。

平成27年度は用地買収を継続するとともに付替道路に着手します。



【H27年度の実施内容】

期待される整備効果

用地買収、付替道路

能谷川からの土砂流出を防ぐとともに、直下流の木地山地区をはじめ、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全します。

大山山系直轄火山砂防事業 (日野川水系)

事業費510百万円
※日野川水系全体

砂-4(日野川)

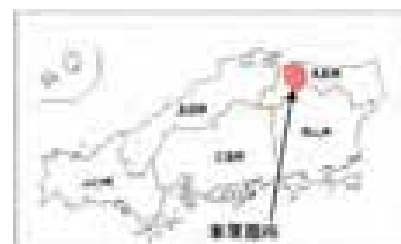
1. 事業の必要性及び概要

事業推進

大山山系は火山岩等の脆弱な地質が分布し、荒廃が激しく、山麓斜面には浸食されやすい火山堆積物や風化した安山岩が厚く堆積しており、土砂流出による災害発生の危険性が高いため、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するとともに、再度災害防止を目的として砂防堰堤等の整備を実施しています。

2. 事業箇所

大山山系(日野川)：鳥取県伯耆町、江府町



3. 平成27年度 予定事業内容

日野川水系において砂防施設4基の整備を実施します。



林ヶ原砂防堰堤
(H27完成予定)

林ヶ原砂防堰堤において土砂災害の軽減及び日野川への土砂流出の抑制を目的として、堰堤本体工事を促進します。



三の沢砂防堰堤
(H27完成予定)

三の沢砂防堰堤において、土砂災害の軽減及び日野川への土砂流出の抑制を目的として、堰堤本体工事を促進します。

4. 期待される整備効果

砂防施設の整備により、米子市街において、土砂を起因とする洪水はん濫の防止・軽減を図ります。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

皆生海岸は、「かな流し」の衰退等に伴い日野川からの流出土砂が減少したことから著しい侵食が生じています。背後には皆生温泉や住宅密集地があり、国道431号線沿いには住家や商業店舗が多数進出し人口も集中していることから、砂浜を保全するために沖合施設の設置や養浜を実施しています。

2. 事業箇所

鳥取県米子市～境港市



3. 平成27年度 予定事業内容

皆生海岸の侵食対策として、両三柳地区において沖合施設(離岸堤)1基を設置します。また、富益地区において砂浜を保全するサンドリサイクルを実施します。



サンドリサイクル施工前



サンドリサイクル施工後



4. 期待される整備効果

海岸侵食による被害を防止するとともに、利用者が安心して快適に利用できる自然豊かな砂浜を保全します。